



# DVと虐待

## —地域で広げる身近な支援—

配偶者からの暴力（DV）は「夫婦喧嘩」、子ども虐待は「しつけ」などと言われ、それらの暴力は家庭内の問題として見過ごされてきました。家庭という密室で暴力を振るわれている被害者にとっては「暴力」と気づくのも難しく、そこから抜け出すには、外部からの支援が必要です。しかし、「もしかしてDV?」「虐待かな?」と思っても、他人の家庭のことにあまり口出しするのも…と、ためらってしまうこともあるでしょう。どうすれば適切な支援ができるのか、地域で被害者を孤立させないためにはどうすればいいのか、一緒に考えてみませんか？

**日時：11月17日（日）午後2時～4時**

**講演：信田 さよ子（原宿カウンセリングセンター所長）**

場所：摂津市立コミュニティプラザ コンベンションホール

定員：120名（10月1日（火）より申込受付）

※お子さんの一時預かり無料 ※手話通訳あり

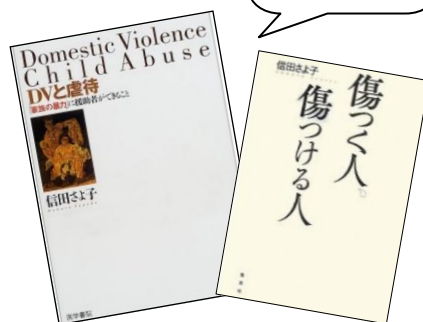


Photo 高松英昭

### 講師プロフィール

原宿カウンセリングセンター所長  
臨床心理士

アルコール依存症など、各種依存症、DV や虐待などに悩む本人や家族のカウンセリングを日々行っている。その他、全国での講演、本の執筆、加害者プログラムの研究など、パワフルに活動している。



ウィズせつつ  
情報室で借り  
られます！

主な著書：「依存症」(文春新書)「DV と虐待」(医学書院)「それでも家族はつづく」(NTT 出版)「母が重くてたまらない」「さよならお母さん」(春秋社)「家族の悩みにおこたえしましょう」(朝日新聞出版)「傷つくる人、傷つける人」(集英社)など多数。

お子さん(6 ヶ月～就学前児)の一時預かりは、11月14日(木)までに要予約。先着順。一時預かりはNPO 法人キッズぽてとと、オレンジリボンチームに委託しています。

### 問い合わせ・申し込み

摂津市立男女共同参画センター ウィズせつつ

TEL：06-4860-7112

FAX：06-4860-7113

# 女性と子どもに対する暴力をなくすために

毎年11月12日から11月25日までの2週間は女性に対する暴力をなくす運動の期間です。また11月は児童虐待防止月間でもあります。この期間にウィズせつつでは、児童虐待防止（オレンジリボンキャンペーン）や障害者、高齢者への虐待防止の取り組みとも連携して講座やパネル展を行います。

また、平成20年度から開催している「ココロをつなぐハンドメイドの会」では「ストップDV」の思いを込めて、かぎ針編みでタペストリーを作ってきました。今年は6作目です。あなたも参加しませんか。

企画	日時	場所
虐待等防止啓発パネル展	11月11日（月）～17日（日）	コミュニティプラザ 1F エントランスホール
DVと虐待 —地域で広げる身近な支援— (オレンジリボンキャンペーンと共催)	11月17日（日） 午後2時～4時	コミュニティプラザ 3F コンベンションホール
パープルリボン&オレンジリボン キャンペーンパネル展	11月19日（火）～29日（金） (29日は午後3時まで)	コミュニティプラザ 1F エントランスホール
ココロをつなぐハンドメイドの会	11月15日（金）～平成26年1月18日（土） 午前10時～12時（全7回）	コミュニティプラザ 1F 男女共同参画センター交流室

## 平成24年度のパープルリボン&オレンジリボンキャンペーンパネル展より



パープルリボンは、女性に対する暴力をなくすための国際的な運動のシンボルマークです。紫のリボンを身につけたり飾ったりすることで、暴力をなくそうという意志を表わします。この運動は、1994年アメリカで、レイプや虐待を受けた人の集まりから始まりました。今では、40カ国以上の国々に広がっています。

問い合わせ・申し込み：摂津市立男女共同参画センター ウィズせつつ

開館時間：月・木・金・土・日曜日 午前9時30分～午後5時

火曜日のみ 午前9時30分～午後9時

休館日：毎週水曜日・祝日・年末年始

〒566-0021 摂津市南千里丘5-35 摂津市立コミュニティプラザ 1F  
(阪急京都線摂津市駅前)

TEL：06-4860-7112/FAX：06-4860-7113

E-mail：danjyo@with-settsu.jp

ホームページ：http://with-settsu.jp

※CO2削減にご協力いただきますよう、お車でのご来場はご遠慮ください。

